



一紫会だより

題字 伊藤嘉夫先生

巻頭ごあいさつ	1
学長ごあいさつ	2
キャンパスツアー	3
角川武蔵野 ミュージアム	4
支部会だより	5
「宝塚歌劇」貸切観劇会 のご案内	
会員だより	8
渋谷栄一氏ふるさと 深谷紀行	9
『一紫会だより』 紙面希望制	10
総会報告	11
大学・事務局より	12

発行 跡見校友会一紫会

〒112-8629 東京都文京区
大塚 1-5-9 跡見学園
TEL&FAX 03-3941-8642



「大学の桜名所」東日本第1位 新座キャンパスの桜

ごあいさつ

幹事長
羽吹綾子



一紫会会員の皆様、ごきげんよう。

桜の開花と共に少しずつ緩和されてきた
新型コロナウイルス。風に舞う桜の美し
さ、鳥のさえずり、新緑が芽吹く季節の香
りや梅雨の雨の匂いを感じる事ができた
のも、三年間我慢したからこそ、より味わ
うことができた「大地からの贈り物」だと
感激している今日この頃でございますが、
皆様いかがお過ごしでしょうか。

学歌『紫のひとと』にこめられた思いを
忘れることなく、卒業生がいつまでも大学に
寄り添い、心をひとつにできるよう昭和四十
三年に創立いたしました一紫会は、昨年十一
月新たに茨城支部が誕生し、全国に十二支部
となりました。お陰様で会員数も三万七千名
を超えました。お陰様で続けております。昭
和・平成・令和の時を経て、今年度、五十五
周年という記念すべき年を迎えることができ

ましたのも、ひとえに会員の皆様のご支援と
ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

三月五日に初めて開催した宝塚歌劇の観劇会
は、全国の会員の皆様から多くのお申し込みを
いただき「このような企画を待っていました
た!」という喜びの声も沢山届きました。ま
た、同時に会員復帰や住所変更のお申し出も多
数あり、一紫会への関心が高まり、より心を寄
せて下さっているのを感じ、常任幹事一同嬉し
く思いました。宝塚を観劇した方から「自分一
人だけでなく、大勢の跡見の卒業生が同じよう
に観劇していることを想像するだけで劇場空間
が何倍にも膨らみ、楽しみを共有しているかの
ように感じた」「親孝行できて良かった」「一
紫会で、跡見で本当に良かった!」という歓喜
の声を頂戴いたしました。

また「次回もぜひ宝塚を!」と熱望する
声も沢山寄せられましたので、創立五十五周
年を記念し、宝塚花組公演『鴛鴦歌合戦』
『GRAND MIRAGE!』観劇会を一紫会貸切
で開催する運びとなりました。一紫会会員と
ご家族だけのプレミアムで贅沢な時間と空間
の中、宝塚という夢と感動の世界に浸ってい
ただき、恩師と会員の皆様の再会の輪、ご家
族との絆を深める輪、回生の絆を超えた交流
の輪、そして笑顔でつながる跡見の輪とな
り、たくさんの美しい輪が広がり花開きます
ことを心より願っております。来る十月一日
「芸術の秋」にふさわしいひとときとなりま

すよう宝塚歌劇の観劇会に皆様からのご応募
をお待ちしております。

一紫会では母校・跡見学園女子大学を支援す
べく、昨年より謝恩会実行委員会へ活動費の援
助を始めました。コロナ禍で大変困難な学生生
活を送られたであろう新会員の皆様へのはなむ
けに、デイズニースアンバサダーホテルで行われ
た謝恩会では、ミッキーやミニーをはじめディ
ズニータの仲間たちが門出を祝うためサプライズ
で登場し、会場に笑顔の花が咲き誇りました。
新会員の皆様が新たな夢に向かって大いに羽ば
たいてくださることを切に願っております。

最後になりましたが、一紫会ではより多く
の会員の皆様に関心を持ち、喜んでいただけ
ますよう宝塚歌劇の貸切観劇会、一紫会アカ
デミー、オンライン作品展をはじめ、その他
幅広いジャンルの企画も新たに考案中ですの
でお楽しみに。一紫会公式LINEのみで募集
するイベントもございますので、これを機会
にご登録いただけましたら幸いに存じます。

新たな未来へ向かい、一紫会五十五年の歴史
と母校の伝統を大切に紡ぎながら「つながろう一
紫会」のスローガンのもと、跡見学園女子大学と
卒業生の架け橋となり、今後も更なる魅力溢れる
情報を発信できますよう常任幹事一丸となり活動
してまいりますので、変わらぬご支援を賜ります
ようよろしくお願い申し上げます。また笑顔でお
目にかかれる日まで、ごきげんよう。

人をつなぐ

学長
小仲信孝先生



一紫会の皆さま、創立55周年おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

ご存じのように、跡見学園女子大学は1965（昭和40）年に設立され、国文学科・美学美術史学科・英文学科・文化学科からなる1学部体制が長く続いていましたが、2002（平成14）年にマネジメント学部を加えた2学部体制となりました。その後、時代の変化に即応すべく新学科を増設しつつ、2015（平成27）年、学園創立140周年、女子大学開学50周年を迎えるに当たり、観光コミュニケーション学部を開設。さらに2018（平成30）年に心理学部が独立し、4学部8学科へと歩みを進めてきました。

これと軌を一にして、一紫会も発展の道を歩んで来られました。創立から55年の今日、3万5千人超の会員を擁し、全国に12支部会が組織されるまでに発展して来られたのは、会の運営に献身的に携わってこられた歴代の幹事長はじめ役員の方々のご尽力、そして何より会員の皆さまの母校へ寄せる熱い想いの賜に他なりません。55年と

いう歳月を思うにつけ、一紫会の存在が跡見学園女子大学を支える礎となっています。ことに、感謝を申し上げる次第です。

一紫会は55周年を一区切りに、次のステージに向かわれます。ついにはお願いしたいことがあります。それは世代間融合の活発化です。同窓会という組織が永続していくためには、時代とともに組織のあり方を更新していくことが求められるのではないのでしょうか。

同窓会は会員の多くにとって顔の見えないネットワークです。私事で恐縮ですが、私は小学校・中学校・高校・大学と4つの同窓会に所属しています。規模はもちろんのこと順に大きくなり、逆に会員名簿の中で見知っている人間の数は減っていきま。高校の卒業アルバムの中にも知らない同級生がいますが、大学となると会員名簿から顔が浮かんでくる人間はごく少数しかいません。だからこそ、顔の見える同期会が貴重なのだと思います。

昨年、東北、新潟、静岡の支部会にお招きいただき、その思いを強くしました。親しく思い出を語り合う同窓生の笑顔には充足感が溢れていました。コロナ禍以降、授業においても学生とオンラインによる非対面の関係性を築かなければならないことに、戸惑いやもどかしさを感じていた身としては、人との本来的な関係性を再認識する機会となりました。

ただ、こうした感覚は私のような古い世代特有のものになりつつあるのかもしれない。

若い世代は人と人との関係性において、

必ずしも対面が非対面よりも優位とは見ていないようです。

「デジタルネイティブ」という言葉があります。デジタルネイティブとは1990年代から2000年代に生まれ、生まれたときからインターネットやパソコンがある環境で育った世代と定義されています。2023年時点で33歳以下の人たちが該当します。いま大学で学ぶ学生たちはまさにこの世代の人たちです。

学生たちはスマートフォンやPCを難なく使いこなし、コミュニケーションツールとして身体化しています。懸命に習得に努めてはいるものの、1周も2周も周回遅れになっているデジタルイミグラント（「デジタル移民」）の私など、PCの操作にモタついていてと学生に指導されることもしばしばです。

デジタルネイティブ世代の特徴のひとつとして、対面（リアル）と非対面（ネット）のコミュニケーションに差を感じていないということが指摘されています。ある調査によれば、20代のスマートフォンの普及率は9割以上。かれらのほとんどがTwitterやInstagramなどのSNSを使いこなし、オンラインでの人間関係を構築しています。

今後、同窓会活動において、こうした若い世代が高い発信力を活かして会員同士をつないでくれば、多種多様なコミュニティが形成され、その集合体として組織が生まれ変わる可能性があります。そこに一紫会が新たなステージへと向かう鍵があるように思います。

跡見校友子女推薦入学試験のご案内

本入試は、本学在学生の姉妹および学園卒業生＜跡見学園女子大学、跡見学園短期大学（跡見学園女子大学短期大学部）、跡見学園高等学校の卒業生＞の子女を対象とした推薦入試です。跡見学園の建学の精神や校風に深いご理解をいただく方々をより多く受け入れることにより、学園の伝統の継承・発展につなげていきたいと考えております。

対象

本学在学生の姉妹および学園卒業生の子女

*入学金については半額免除いたします。 *評定平均値については、他の推薦入学試験に比して優遇措置をとっております。
*出願をご希望の方は、一度入試課（TEL：048-478-3338）までご連絡ください。



キャンパスツアーレポート

立春となった二月四日（土）。実に十七年ぶりとなる新座キャンパスツアーが開催されました。前日までの冷たい風もなく暦通り春を思わせる暖かな日差しが降り注ぎ、絶好のツアー日和となりました。キャンパスツアー史上最多となる百十一名に及ぶご応募をいただき、誘い合わせてお越しくださった会員同士のグループやご家族やご友人をお連れになられた方々、お一人でご参加くださいました会員も各世代にいらっしゃいました。

花蹊メモリアルホールにおいて、開会の幹事長挨拶に続き、学長小仲信孝先生からは、ツアーコースにあたる図書館での展示、森鷗外『舞姫』の原稿二十八枚全公開について、その展示に至るまでの経緯を含めご説明いただきました。

ホール外の大階段にて集合写真を撮影後、参加者はA・B・Dの4グループに分かれ、先にA・Bグループがツアーに出発しました。C・Dグループはホールに戻り、ツアー出発になるまでの時間を利用し、自己紹介を行いました。同級生との思いがけぬ久々の再会に胸がいっぱいになり感極まる場面もありました。



■ご参加の皆さまと



■コースの説明風景



■『舞姫』の原稿を前に小仲信孝学長の生解説



■竹隆岡埜様の跡見どら焼

ツアー中は、大学開学当初から修繕を重ねている一号館の中を歩きながら「ここは卒論提出の教室だったわね」とか「この大教室でダンスの授業を受けたわね」などと在学当時を懐かしむ声が聞こえました。中庭を通り抜け不言亭から図書館へ。図書館では貴重な『舞姫』の原稿を前にし、森鷗外の筆跡を一字一字目で追いつながら小仲学長の生解説に耳を傾け、贅沢な時間を惜しみつつ、なかなか歩を進められない様子も見受けられました。

A・BとC・Dグループが入れ替わり、参加者全員がツアー行程を終え最後に再びホールに集合し、ハズレなしの「一紫会くじ」を行いました。これは、寒い時期にも関わらずご参加くださった会員の方々に御礼の気持ちを伝えたいという幹事長発案のもと、常任幹事が準備しました。

お帰りの際にお土産として、大学からは大学案内と桜ガイドに加え新座キャンパス敷地内で収穫された夏みかんを、学園からは跡見オリジナル文房具をご提供いただきました。また、参加者皆様が楽しみにされていた竹隆岡埜様の跡見どら焼きをお持ちいただき、次回また何かのイベントでお目にかかれましようにと声を掛け合い、散会となりました。

このキャンパスツアー開催におきまして、学長小仲信孝先生はじめ大学職員の皆様には、昨年の準備段階より実施に至るまで多大なるご協力をいただきましたこと、心より御礼を申し上げます。

森鷗外自筆舞姫草稿（複製本）全1冊
別冊解説付

（山崎一穂跡見学園女子大学名誉教授）

限定200部 和装本仕立
縦280mm 横390mm 本文28ページ
題字・森於菟筆
令和4年（2022）12月24日発行
発行所 跡見学園女子大学
定価5万円（税込）



別冊解説



舞姫草稿



跡見学園が購入した森鷗外自筆『舞姫』草稿が今般改装され、複製本が作製されましたのでご案内いたします。

『舞姫』
複製本頒布の
ご案内

購入希望の
問い合わせ先

学校法人跡見学園 法人事務局総務課
〒112-8629 東京都文京区大塚 1-5-9 TEL:03-3941-8161/FAX:03-3941-8162
受付時間 平日 8:30 ~ 16:30 メール h-somu@atomi.ac.jp

恩師と愉しむ！富川淳子先生と巡る 角川武蔵野ミュージアムのすべて

2022年11月23日(水・祝)、跡見学園女子大学と唯一提携の角川武蔵野ミュージアムにて、対面イベント再開第1弾として開催されました。

まずは、レクチャールームで元『an・an』『Hanako』編集長の富川淳子先生に『シャネルとディオール「エレガンス」の違い』についてのご講義を。

「スタイル」をつくったシャネルと「流行」をつくったディオール。その生涯からドレスのデザインや型、目指した女性像まで楽しく比較しながら学ぶことができ、ファッションひとつでも視点を変えることで色々なものが見えることを学びました。講義の最後には、富川先生がご用意下さった「CHANEL N°5」と「Miss Dior」の香水比べで、高貴な香りに包まれました。

レクチャー後は、圧巻の本棚劇場、「岩谷光昭の世界ネコ歩き」写真展、日本初!360度全身で体感できるデジタルアート展『ファン・ゴッホ 一僕には世界がこう見えるー』など拝観いたしました。

皆様も、美術館・博物館・図書館の3館が唯一融合した角川武蔵野ミュージアムで多角的なカルチャー、COOL JAPANの世界をぜひご堪能くださいませ。



■ CHANEL N°5



■ Miss Dior



■ 富川淳子先生



■ 参加者の方々と富川先生を囲んで



※『ファン・ゴッホ一僕には世界がこう見えるー』より一部抜粋



■ 素敵なコーデの会員様



■ 客席で記念撮影



■ 北海道よりで参加の
母娘ショット！



■ 観劇会後、帝国ホテルでの素敵な
バースデー記念を母娘で！

一紫会主催 第25回観劇会 「宝塚歌劇」レポート

東京マラソンが開催された3月5日(日)一紫会初の宝塚観劇会は大変多くの反響をいただき、全国1,341名の皆様からご応募をいただきました。厳正なる抽選の結果、当選された150名が令和版『うたかたの恋』とショー『ENCHANTMENT』の宝塚ならではの華やかな香りに魅了されました。

3月5日は花組トップスター柚香光さんの誕生日というサプライズデーで、劇場もより熱く盛り上がり、会員の皆様も喜ばれました。

また、お土産の花蹊先生の「桜花」モチーフの一紫会オリジナルマスク&チケットホルダーも大好評でした。

「次回もぜひ宝塚を！」と熱望する声を沢山いただき、散会となりました。

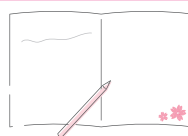


LINE

一紫会公式 LINE
ご登録を！



宝塚観劇会等のイベントは開催時期によっては、一紫会公式 LINE にてご案内させていただく場合がございます。是非この機会に公式 LINE のご登録をお願いいたします。



会員番号をお控えください

住所変更やイベント申し込みの際に必要です。会員番号は一紫会だよりの封筒宛名下に印字してあります。お電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

茨城支部準備会

令和4年11月20日(日)

水戸京成ホテル「景山」にて

出席：参加会員 21 名

関東圏初となる茨城支部会が発足し、支部長は酒井邦子様(11 回生文化)に決まりました。

支部会 だより



第1回 静岡支部会

令和4年12月4日(日)

ホテルグランヒルズ静岡
「クリスタルルーム」にて

出席：山崎理事長・小仲学長
参加会員 30 名



■ 支部長の酒井邦子様(左側)



■ 乾杯のご発声は山崎理事長



■ 講演風景



■ ご来場の小仲学長ゼミ卒業生

令和四年十一月五日(土)、小仲信孝学長に「女子教育の時代を生きる、跡見花嫁と樋口一葉」をオンラインにてご講演いただきました。

「二紫会アカデミー」は、全国の会員の皆様が卒業後も楽しく学び直せる「リカレント教育」の場として、跡見学園女子大学の先生による講演をオンラインでお届けいたします。次回の一紫会アカデミー開催もご期待ください。

第一回 一紫会アカデミー開催

令和5年度 会員分布状況

(2023.4 現在)

一紫会には全国に12支部あります。会員の皆様はどの支部会にも参加することができます。2023年度支部会スケジュールは決まり次第、ホームページに掲載いたします。

一紫会では、運営費を全般と会費の一部を援助しております。支部会についてのご意見やご希望をお寄せください。

(メール・郵送にて/宛先はP.12 参照)

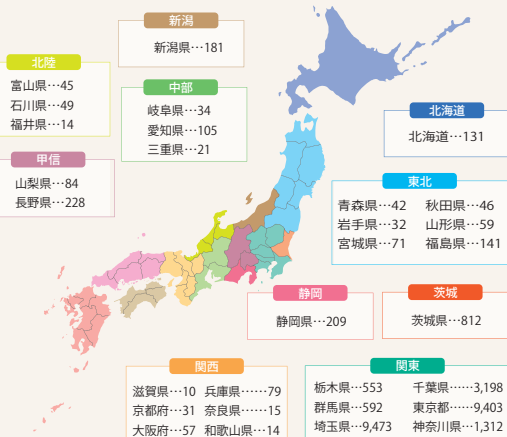
総会員数：37,568
有効会員数：27,246

(海外在住・住所不明・物故者を除く)

中国
鳥取県…9 広島県…28
島根県…14 山口県…24
岡山県…38

四国
徳島県…20 愛媛県…27
香川県…26 高知県…10

九州
福岡県…57 大分県…24
佐賀県…9 宮崎県…12
長崎県…22 鹿児島県…30
熊本県…27 沖縄県…9



お申し込み方法

メール・ハガキにて「宝塚希望」と題し、以下の内容をご記入の上、お申し込みください。

- | | |
|---|---------------------|
| ①希望人数 | ⑥氏名（※必ずフリガナ） |
| ②希望席種（第3希望まで可）
例）第1希望：S席／第2希望：A席／第3希望：B席 | ⑦当日連絡可能な電話番号 |
| ③会員番号（『一紫会だより』封筒宛名下のNo.）
※宛名出力のためご協力ください。 | ⑧メールアドレス |
| ④回生 | ⑨同伴者名（※必ず氏名・続柄・年齢） |
| ⑤〒住所（※登録住所と異なる場合は必ず「住所変更」
手続きを同時に行ってください。） | ⑩落選の場合、キャンセル待ち希望の有無 |

締切：7月13日（木）

※お子様も一人一席となります（お子様を膝の上に乗せての観劇不可）
※会員同士でお申し込みの場合は代表者が全員の必要事項をご記入ください
※お隣同士希望の方は、必ず同グループにてお申し込みください
（別々にお申し込みされた場合、席をお隣同士にすることはできませんので予めご了承ください）

お申し込み先
（右記のみで受付）

メールアドレス：issshi-kai@atomi.ac.jp
〒112-8629 東京都文京区大塚 1-5-9 跡見学園 跡見校友会一紫会
※宝塚歌劇・跡見学園・跡見学園女子大学へのお問い合わせはご遠慮ください

お申し込み～観劇日当日までの流れ

1 お申し込み【7/13(木)締切】

2 当選者への通知・入金のご案内 【8/10(木)発送予定】

3 入金【8/31(木)締切】

※ご入金後の返金はできませんのでご了承ください
※締切日を過ぎるとキャンセル扱いとなります

4 簡易書留郵便によりチケット送付 【9/19(火)・9/20(水)発送予定】

※代表者に発送いたします
※必ず不在票をご確認ください
※ご不在等でチケットが返送された場合、その際の往復分の送料は実費をご請求させていただきますのでご注意ください

5 ご観劇日当日【10/1(日)】 記念品お渡し

※チケットの紛失、破損などによる再発行はできませんので、公演終了まで大切に保管してください
※開演15分前までには必ずご着席ください

お申し込みされる方へ

- ▲先着順ではございません。
- ▲ご応募は一人様につき1回です。複数回ご応募された方は、無効とさせていただきます。
- ▲厳正なる抽選の結果、ご当選された会員のみ（代表者）に入金方法・詳細等をご案内いたします。
- ▲座席の指定はできません。抽選とさせていただきます。
- ▲応募状況に関するご質問、抽選方法、当選結果、座席、公演等に関するお問い合わせは一切お答えいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ▲貸切公演のため空席がないよう欠席になる方は必ず事前にご連絡ください。
- ▲チケット不正転売禁止法により、転売・オークション出品や換金は固く禁じます。転売や出品および換金が発見された場合は、入場をお断りし、退会させていただきます。跡見の名に恥じぬようご協力をお願いいたします。
- ▲観劇者の把握が必要なため、必ず観劇者ご本人が観劇される前提でお申し込みください。
- ▲マスクの着用についてはお客様のご判断にお任せいたします。咳、くしゃみなどをする際は、咳エチケットにご配慮をお願いいたします。（最新の情報については宝塚歌劇公式ホームページをご確認ください。）
- ▲公演が中止になった場合、チケット代金以外の費用（交通費・宿泊費等）の補償はございませんので、予めご了承ください。
- ▲「お花のお届けもの」は劇場の都合上、全面的に拝辞させていただきます。お送りいただきました場合も、受け取りをお断りさせていただくこととなりますので、あわせてご了承の程お願い申し上げます。

ご観劇予定の先生方は7月1日（土）頃に一紫会ホームページにてお知らせいたします

跡見校友会一紫会創立55周年記念

「宝塚歌劇」貸切観劇会のご案内

東京宝塚劇場（日比谷）

2023年10月1日（日）11：00 開演

（公演時間は休憩を含め約3時間）

S 席
9,500 円
（1・2 階）

A 席
5,500 円
（2 階）

B 席
3,500 円
（2 階）

+

送料 500 円
（簡易書留郵便 488 円 + 諸経費）

《宝塚公演プログラム + 一紫会オリジナルグッズのお土産付》

同伴ご家族2名まで

会員同士は同グループ何名様でもお申し込み可能

宝塚歌劇 花組公演

おしどりうたがっせん
オペレッタ・ジャパネスク『鴛鴦歌合戦』

原作 映画「鴛鴦歌合戦」©日活株式会社
監督／マキノ正博 脚本／江戸川浩二 脚本・演出／小柳 奈穂子

1939年公開の『鴛鴦歌合戦』は、“日本映画の父” 牧野省三の息子にしてプログラムピクチャーの名手、マキノ正博監督による、片岡千恵蔵主演のオペレッタ映画。長屋住まいの貧乏浪人と隣家の娘の恋騒ぎを、軽快なジャズに乗せて描いた娯楽作品です。

原作では浪人、浅井礼三郎と町娘のお春の關係に、骨董狂いの殿様、峰沢丹波守を巻き込んだの恋の鞠当てであった物語に、今回の舞台化ではお家騒動の顛末を加え、スケールアップしたミュージカル作品としてお届けします。

花組オールスターキャストで挑む、日本映画史にその名を刻む傑作オペレッタ喜劇の初の舞台化にどうぞご期待ください。



©宝塚歌劇団

ネオ・ロマンチック・レビュー『GRAND MIRAGE!』

作・演出／岡田 敬二

大いなる夢と愛に満ち、宝塚歌劇ならではの美しさと華やかさ、そして品格と馥郁たる香りを湛えたレビュー作品。カンツォーネの名曲で構成する場面や、柚香光を中心とした花組のダンスの魅力に迫るヴァイタリティ溢れる場面等を展開。ロマンチック・レビューシリーズ22作目となる本作では、ネオ・ロマンチック・レビューとして、より新鮮で魅力的なレビューの世界をお届け致します。

出演：柚香光・星風まどか 他

栄敏会

会員だより

長唄演奏會 十一月二十三日（祝・水） 国立劇場

令和五年十月末で一時間閉場し、同十一月から新築を控えている国立劇場（小劇場）にて令和四年十一月二十三日（水・祝日）、「第二十八回 栄敏会 長唄演奏會—米寿を迎えて—」が開催されました。

跡見学園女子大学長唄研究会をご指導くださったという恩師である杵屋栄敏郎先生の米寿を祝し華を添えるべく、跡見学園女子大学長唄研究会の卒業生で構成される紫栄会の方々も多く出演されました。栄敏会と紫栄会の合同演奏となった「娘道成寺」では、三味線の繊細で艶やかな音色の中にも迫力が感じられ、会場を魅了していました。



■ 杵屋栄敏郎先生と一紫会贈呈のお花



■ 紫栄会との演奏「娘道成寺」

マンドリンクラブ

第五十六回 定期演奏会

令和四年十一月十三日（日）、ふるさと新座館ホールで跡見学園女子大学マンドリンクラブによる定期演奏会が開催され、一紫会からお祝いのスタンド花をお贈りいたしました。

ジブリ映画のテーマ曲『借りぐらしのアリエッティ』『ハウルの動く城』など、マンドリン・マンドラ・クラシックギター・コントラバスによる繊細かつ美しい旋律のハーモニーに心癒されました。

マンドリンクラブとOG梓会の今後の更なる発展、ご活躍をお祈りしております。定期演奏会は毎年秋に開催されますので、是非会員の皆様も足をお運びください。



■ 演奏風景



■ マンドリンクラブの皆様



■ 一紫会からお送りしたお祝い花

宝塚貸切観劇会準備をお手伝い頂ける方を募集

宝塚貸切観劇会の前日 9/30（土）と当日 10/1（日）にお手伝いしていただける方を募集しています！

9/30 配布物の封入作業
（土）（日中の時間帯）

10/1 誘導・配布作業
（日）（観劇前の時間帯）

下記①～⑧を入力の上、メールにてお申し込みください。

✉ isshi-kai@atomi.ac.jp

①希望日 ②会員番号 ③卒業回生 ④学科 ⑤氏名 ⑥ご住所 ⑦お電話番号 ⑧アドレス

※お仕事をお願いする方には9月中旬頃に詳細をご連絡いたします。



オンライン作品展 2024【写真】募集

会員の皆様から手工芸作品のお写真を募集しております。
一紫会ホームページにて公開させていただきます。
皆さまからのご応募お待ちしております。

募集締切 2024 年 5 月 31 日必着
ご応募はこちらから



大学謝恩会

2023 年 3 月 20 日（月）の大学謝恩会には
羽吹幹事長が出席し、一紫会からお祝いのお
花とディズニーキャラクターを 55 回卒業生
の皆様にお届けいたしました。

会場風景



ディズニー
キャラクター達が
登場



一紫会贈呈のお花



謝恩会実行委員会へ 活動費支給

2022 年 11 月 18 日（金）、謝恩会実
行委員会への活動費を支給させていた
だきました。

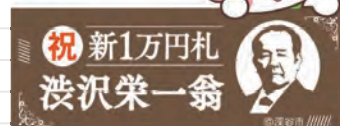


写真左より

委員長 鈴木理子（人文学科 4 年）
委 員 篠塚汐莉（マネジメント学科 3 年）
委 員 黒木彩那（人文学科 3 年）

渋 沢 栄 一 氏

ふるさと深谷紀行



2023 年 2 月 23 日（木・祝）、跡見の顧問をされ
ていた渋沢栄一氏の故郷・深谷市の血洗島を訪問し
ました。深谷駅に降り立った瞬間「赤城おろし」の
洗礼を受け、一見すると東京駅と見間違ふ外観に圧
巻！渋沢氏はレンガを作るため、日本煉瓦製造株式
会社を深谷に作り、そこで作られたレンガを東京駅
の建設にも使いました。

旧渋沢邸「中の家」は、渋沢氏の妹夫妻によって
明治 28 年に上棟された建物。多忙な渋沢氏が帰郷し
た際に滞在し、寝泊まりした場所です。この「中の家」
から論語を学ぶために通ったのが従兄・尾高惇忠生

家。2 階には高崎城乗取り計画を密議したと伝わ
る部屋が残っています。

渋沢栄一記念館には、若かりし頃に地元の祭りで
獅子舞を舞ったことや藍玉の商売に深く関わってい
たことがわかる資料も。行司役を務めた藍農家の番
付からは「皆で豊かになっていこう」という熱意が
感じとれました。館内では、渋沢氏そっくりのアン
드로이드が身振り手振りを交えながら、経済と道徳
の両立について講義もしてくれます。

2024 年より 新 1 万円札の肖像となる渋沢栄一氏
のふるさとをぜひ皆様も訪れてみてください！



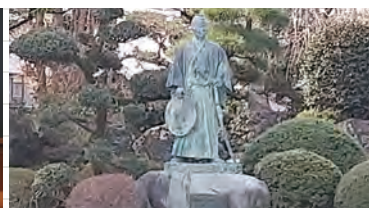
深谷駅



渋沢栄一記念館



渋沢栄一
アンドロイド



旧渋沢邸「中の家」渋沢像

『一紫会だより』紙面希望制の調査は 2023 年度をもって終了します！

一紫会では『一紫会だより』を紙面で受け取りたい方の希望調査を2022年度より始めました。当初は3ヵ年の計画でスタートしましたが、初年度に多くの方々からのお声を受け取ることができましたことにより計画を再検討いたしました。その結果、紙面希望調査は3年を待たず、この 2023 年度のお返事を最終とさせていただきますことといたしました。

会員の皆さまには、紙面希望調査に迅速にご協力をいただき誠にありがとうございました。

なお、今後も紙面の郵送を希望なさる方は、下記の要領にてご申告くださいますようお願いいたします。
紙面を希望しない場合はご連絡不要です。

紙面を希望する


メールで


FAX で


封書・ハガキで

・「一紫会だより」希望（メールの場合はタイトルに）
・会員番号（分かる場合のみ）
・卒業回生
・学科名
・クラス（該当者のみ）
・氏名（フリガナ）
・現住所

を明記の上、一紫会宛までご連絡ください。

紙面を希望しない

ご連絡不要です


メール

isshi-kai@atomi.ac.jp


FAX

03-3941-8642


住所

〒112-8629 東京都文京区大塚 1-5-9 跡見学園
跡見校友会一紫会



一紫会公式ホームページ

* 希望調査は今年度（2023年度）で終了し、2024年度からは紙面希望の会員（※一紫会本部にて現住所を把握できている会員）のみへ送付いたします。
* 『一紫会だより』は一紫会公式ホームページにも掲載されていますので、是非ご活用ください。

総会報告

令和五年五月二十日（土）、文京区の林野会館にて一紫会幹事総会を開催いたしました。会合における様々な規制が緩和される中、多数の出席者を見込み、広い会場を確保。今年度も感染防止対策を講じ、皆様のご協力のもと議事は進行し、すべての議案について可決されました。



会議風景



2023年2月13日55回生
新幹事お顔合わせ会



ご出席の新幹事
55回生現代文化
表現学科
星野すず様

新役員紹介

幹事長
副幹事長
常任幹事

羽吹綾子

藤澤恵美

三原幸恵・丸子純

城井万美代・御所文子

北沢江利・早水祐美

福岡みつゑ・末岡三穂子

相談役

若泉雪子・藤田理恵子

新幹事紹介

本年度第五十五回卒業生より、左記の方々が一紫会幹事をお引き受けくださいました。（敬称略五十音順）

《文学部》

◆人文学科

◆櫻井柚香・鈴木理子・舩谷聡子

◆現代文化表現学科

◆星野すず・松井珠里

◆コミュニケーション文化学科

◆堂井里菜・渡邊里咲

《心理学部》

◆臨床心理学科

◆佐々木麻尋・笹子夏綺

◆鈴木早希・代麻奈美

《マネジメント学部》

◆マネジメント学科

◆神山菜穂・木内優里・福田莉七子

◆生活環境マネジメント学科

◆島野可奈子

《観光コミュニケーション学部》

◆観光デザイン学科

◆齊藤美由希・齊藤結女

◆コミュニケーションデザイン学科

◆釜菜摘・中谷華



2023年3月18日
大学卒業式に
壇上花を贈呈しました

跡見校友会一紫会 令和4年度決算報告

自令和4年4月1日
至令和5年3月31日

(収入の部)		(単位：円)			
科目	予算額	決算額	増減額	備考	
会費	16,700,000	16,740,000	40,000	837名	
事業収入	10,000	0	△10,000		
受取利息	200	101	△99		
前年度繰越金	7,570,428	7,570,428	0		
合計	24,280,628	24,310,529	29,901		

(支出の部)		(単位：円)			
科目	予算額	決算額	増減額	備考	
通信費	3,800,000	3,938,127	138,127		
印刷費	2,000,000	2,174,140	174,140		
企画費	3,500,000	2,461,116	△1,038,884		
記念品費	4,000,000	3,586,150	△413,850		
慶弔費	200,000	39,600	△160,400		
校友会入会金	299,100	299,100	0	997名	
交通費	1,000,000	1,021,982	21,982		
人件費	3,500,000	2,984,000	△516,000		
会議費	200,000	209,993	9,993		
交際費	200,000	296,828	96,828		
備品費	50,000	0	△50,000		
消耗品費	200,000	221,324	21,324		
監査費	60,000	60,000	0		
雑費	100,000	87,752	△12,248		
予備費	71,528	0	△71,528		
大学院奨学金	600,000	416,850	△183,150	3名	
修学援助金	2,000,000	1,909,300	△90,700	12名	
海外研修助成金	1,500,000	0	△1,500,000		
横立金	1,000,000	1,000,000	0		
小計	24,280,628	20,706,262	△3,574,366		
本年度剰余金	0	3,604,267	3,604,267		
合計	24,280,628	24,310,529	29,901		

全会員数：37,568名
終身会費預り金：56,020,000
終身会費積立金残高：17,975,334
※2000万円を跡見さくら会く基金に寄付しました(5/16)

跡見校友会一紫会 令和5年度収支予算

自令和5年4月1日
至令和6年3月31日

(収入の部)		(単位：円)	
科目	予算額	備考	
会費	17,280,000	864名	
事業収入	10,000		
受取利息	200		
前年度繰越金	3,604,267		
合計	20,894,467		

(支出の部)		(単位：円)	
科目	予算額	備考	
通信費	4,000,000		
印刷費	2,000,000		
企画費	3,400,000		
記念品費	2,700,000		
慶弔費	100,000		
校友会入会金	329,100	1,097名	
交通費	1,000,000		
人件費	3,300,000		
会議費	200,000		
交際費	300,000		
備品費	50,000		
消耗品費	200,000		
監査費	60,000		
雑費	100,000		
予備費	55,367		
大学院奨学金	600,000		
修学援助金	1,000,000		
海外研修助成金	1,500,000		
合計	20,894,467		

大学より

退職された先生方

文学部人文学科教授
村田宏先生

文学部現代文化表現学科専任講師
三輪健太郎先生

文学部コミュニケーション文化学科
准教授
中西太郎先生

マネジメント学部
生活環境マネジメント学科教授

石塚正敏先生

マネジメント学部
生活環境マネジメント学科准教授

横井由利先生

観光コミュニティ学部
観光デザイン学科教授

小長谷悠紀先生

訃報

文学部美学美術史学科教授
廣井力先生

令和四年六月二日
享年九十七歳

文学部文化学科教授
渡部武先生

令和四年十一月二十五日
享年九十九歳

MEDIA

ちよつとメディア

◆キャロル・ギリガン著

『もうひとつの声で——心理学の理論とケアの倫理』

川本隆史・山辺恵理子・米典子訳、風行社、二〇二三年十月



◆川本隆史著

『「共生」から考える——倫理学集中講義』

岩波現代文庫、岩波書店、二〇二三年十二月



◆花岡照明先生

昭和音楽大学で声楽（独唱）と作曲を学んでおられ、
コロナ禍のため2年ぶりの発表会に声楽と作曲部門
にエントリーされました。

歌唱曲

1. ふるさと（岡野貞一作曲）
2. La Serenata（セレナータ、トスティ作曲、イタリア歌曲）
3. Non t'amo più!（君なんかもう（愛していない）、トスティ作曲、イタリア歌曲）

自作曲

1. 小さなワルツ 2. 最後の憂鬱

花岡先生の歌唱がご視聴いただけます



事務局より

住所・氏名の変更方法

以下の内容を記入し、住所変更と題して下記の一
紫会事務局までメール・FAX・封書・ハガキでお送
りください。

- 1 会員番号（分る場合のみ記入。『一紫会だより』
が届いている方は、封筒宛名の下のNoです。）
- 2 卒業回生・学科名・クラス（回生が不明な場合
は卒業年でも可）
- 3 氏名（フリガナ）
- 4 旧姓（フリガナ）
- 5 現住所（郵便物を受け取ることができる連絡先。
郵便番号必須・様方など）
- 6 電話番号（携帯可）

跡見 さくら咲く募金

跡見学園は2025年に創立150周年を迎えます。
募金についてはQRコードより詳細をご覧ください。



各種お申し込み・ご連絡先

跡見校友会一紫会

〒112-8629 東京都文京区大塚 1-5-9 跡見学園 FAX:03-3941-8642

ホームページ: <https://ak-issshikai.com/> メールアドレス: issshi-kai@atomi.ac.jp

印刷製本: 株式会社サンワ